



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 株式会社 安永  
 コード番号 7271 URL <http://www.fine-yasunaga.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安永 暁俊

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 長谷川 恵一

TEL 0595-24-2122

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	9,531	21.8	783	417.0	812		736	
29年3月期第1四半期	7,823	6.6	151	616.8	108		148	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 625百万円 ( %) 29年3月期第1四半期 258百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	61.60	
29年3月期第1四半期	12.44	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	34,106	11,062	32.4	924.65
29年3月期	33,389	10,520	31.5	879.38

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 11,062百万円 29年3月期 10,520百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		4.00		7.00	11.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		5.00		5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	5.8	800	25.7	770	417.4	500		41.79
通期	33,500	1.5	1,200	18.3	1,000	11.2	700	104.8	58.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	12,938,639 株	29年3月期	12,938,639 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	975,277 株	29年3月期	975,277 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	11,963,362 株	29年3月期1Q	11,963,362 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の回復や国内需要の持ち直しを背景に、雇用環境は着実に改善しており、個人消費についても緩やかな持ち直しが見られました。しかしながら、米国政権の政策運営の不確実性等の懸念材料により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

当社グループの主要販売先である自動車業界は、国内市場については新型小型車や新型スポーツ用多目的車（SUV）の販売が好調で比較的堅調に推移しました。一方、海外市場では、米国で2017年上半期（1～6月）の新車販売台数が前年同期比2.1%減少し、また中国でも新車販売の伸びは低水準に留まっており、先行きは不透明な状況となっています。

このような企業環境下、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高95億31百万円（前年同期比21.8%増加）、営業利益7億83百万円（前年同期比417.0%増加）、経常利益8億12百万円（前年同期は1億8百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億36百万円（前年同期は1億48百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### 【エンジン部品事業】

国内生産の増加に加え、タイ子会社において稼働開始した生産ラインの販売増により売上高は増加しました。一方、利益面でもプロダクトミックス及び原価低減活動等により営業利益は大幅に改善しました。その結果、売上高53億円（前年同期比9.4%増加）、営業利益2億63百万円（前年同期比127.4%増加）となりました。

#### 【機械装置事業】

国内自動車業界の旺盛な設備投資意欲を受け、工作機械の販売が順調に推移し、検査測定装置の受注も前期に引き続き好調に推移しました。利益面でもプロダクトミックス等により営業利益は黒字に転じました。その結果、売上高33億37百万円（前年同期比71.2%増加）、営業利益4億68百万円（前年同期は1億1百万円の営業損失）となりました。

#### 【環境機器事業】

海外向けエアーポンプの販売減少に加え、集合住宅向けディスポーザシステムの販売が減少したことにより、売上高及び営業利益は減少しました。その結果、売上高8億円（前年同期比15.9%減少）、営業利益66百万円（前年同期比45.4%減少）となりました。

#### 【その他の事業】

当セグメントには、運輸事業及びサービス事業を含んでおります。

売上高92百万円（前年同期比16.2%増加）、営業利益10百万円（前年同期比19.5%減少）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ7億16百万円（前連結会計年度末比2.1%）増加し、341億6百万円となりました。

#### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ6億1百万円（前連結会計年度末比3.5%）増加し、178億54百万円となりました。

この増加の主な要因は、現金及び預金の増加9億52百万円等によるものであります。

#### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1億15百万円（前連結会計年度末比0.7%）増加し、162億51百万円となりました。

この増加の主な要因は、投資その他の資産の増加65百万円や有形固定資産の増加50百万円等によるものであります。

#### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ4億11百万円（前連結会計年度末比2.9%）増加し、143億94百万円となりました。

この増加の主な要因は、短期借入金の増加8億50百万円や賞与引当金の減少3億44百万円等によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ2億36百万円(前連結会計年度末比2.7%)減少し、86億49百万円となりました。

この減少の主な要因は、長期借入金の減少1億43百万円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5億41百万円(前連結会計年度末比5.1%)増加し、110億62百万円となりました。

この増加の主な要因は、利益剰余金の増加6億53百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年7月19日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した連結業績予想に変更はありません。

## 1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,625	4,577
受取手形及び売掛金	6,000	6,508
電子記録債権	941	636
商品及び製品	1,193	1,365
仕掛品	3,385	2,825
原材料及び貯蔵品	1,358	1,298
繰延税金資産	20	23
未収入金	342	326
その他	390	299
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	17,253	17,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,275	11,413
減価償却累計額	△6,830	△6,893
建物及び構築物(純額)	4,445	4,519
機械装置及び運搬具	25,909	25,844
減価償却累計額	△21,889	△21,881
機械装置及び運搬具(純額)	4,019	3,962
工具、器具及び備品	5,733	5,752
減価償却累計額	△5,424	△5,448
工具、器具及び備品(純額)	309	303
リース資産	2,307	2,225
減価償却累計額	△403	△468
リース資産(純額)	1,904	1,757
土地	2,254	2,258
建設仮勘定	1,471	1,653
有形固定資産合計	14,405	14,455
無形固定資産	47	46
投資その他の資産		
投資有価証券	625	673
繰延税金資産	47	37
その他	1,018	1,046
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	1,683	1,749
固定資産合計	16,136	16,251
資産合計	33,389	34,106

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,268	4,196
電子記録債務	415	446
短期借入金	3,650	4,500
1年内返済予定の長期借入金	1,798	1,796
1年内償還予定の社債	220	220
未払金	1,879	1,947
リース債務	358	362
未払法人税等	455	171
賞与引当金	551	207
工事損失引当金	9	9
設備関係支払手形	7	7
その他	369	527
流動負債合計	13,982	14,394
固定負債		
社債	550	550
長期借入金	6,098	5,954
リース債務	1,578	1,495
繰延税金負債	117	114
役員退職慰労引当金	45	40
環境対策引当金	7	7
退職給付に係る負債	413	411
資産除去債務	75	75
固定負債合計	8,886	8,649
負債合計	22,868	23,044
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	2,114	2,114
利益剰余金	6,444	7,098
自己株式	△330	△330
株主資本合計	10,371	11,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	233	272
繰延ヘッジ損益	-	△15
為替換算調整勘定	126	△19
退職給付に係る調整累計額	△211	△200
その他の包括利益累計額合計	148	37
非支配株主持分	0	0
純資産合計	10,520	11,062
負債純資産合計	33,389	34,106

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	7,823	9,531
売上原価	6,868	7,831
売上総利益	955	1,700
販売費及び一般管理費	803	916
営業利益	151	783
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	0	0
受取賃貸料	5	5
為替差益	-	51
その他	11	9
営業外収益合計	18	69
営業外費用		
支払利息	37	37
為替差損	202	-
減価償却費	13	1
その他	24	1
営業外費用合計	278	40
経常利益又は経常損失(△)	△108	812
特別利益		
投資有価証券売却益	-	0
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産売却損	10	-
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	10	0
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△118	812
法人税、住民税及び事業税	44	91
法人税等調整額	△13	△16
法人税等合計	30	75
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△148	736
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に 帰属する四半期純損失(△)	△148	736

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△148	736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53	39
繰延ヘッジ損益	-	△15
為替換算調整勘定	△85	△146
退職給付に係る調整額	28	11
その他の包括利益合計	△110	△111
四半期包括利益	△258	625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△258	625
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,842	1,949	951	7,743	79	7,823	—	7,823
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	9	0	9	123	132	△132	—
計	4,842	1,958	952	7,753	203	7,956	△132	7,823
セグメント利益又は セグメント損失(△)	115	△101	121	135	13	149	2	151

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額2百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,300	3,337	800	9,438	92	9,531	—	9,531
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	301	—	301	121	422	△422	—
計	5,300	3,638	800	9,739	214	9,954	△422	9,531
セグメント利益	263	468	66	798	10	809	△25	783

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△25百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。